

アジア低炭素発展への道

ー環境研究総合推進費 戦略的研究プロジェクト
アジア低炭素社会研究成果とその実装展開に向けた取り組みー

アジア低炭素社会研究プロジェクト(S-6)とは Low-Carbon Asia Research Project (S-6)

国立環境研究所 甲斐沼 美紀子

National Institute for Environmental Studies
Mikiko Kainuma

(於) イイノホール&カンファレンスセンター
2012 年10月30日



アジア低炭素社会研究プロジェクト (S-6) の研究概要 (1/3)

What is Low-Carbon Asia Project

アジア低炭素社会研究プロジェクトは、アジア地域を対象として、低炭素社会の実現とともに経済発展など様々な課題をあわせて解決する中長期的な将来シナリオを描き、その実現に向けた対策を検討、評価することを目的とする。このため、2050年までを見越したアジアのリープフロッグの可能性を検討し、それに至る道筋を提示する。本プロジェクトは4つの研究チームから構成されている。

- アジア各国を対象に、低炭素社会の実現を統合するビジョンを作成するとともに、その実現に向けた対策、道筋の検討と評価を、バックキャストの手法を用いて定量的に行う（シナリオチーム）。
-

アジア低炭素社会研究プロジェクト (S-6) の研究概要 (2/3)

What is Low-Carbon Asia Project

- 中長期的国際制度の在り方を提示し、政治学、国際関係学、行政学および分野横断型の政策研究手法を用いて、提示した国際制度実現のための具体的政策オプションを提案する（ガバナンスチーム）。
 - アジア各国の経済発展に伴う社会基盤の整備、耐久消費財の普及、消費財の消費拡大、あるいは低炭素化技術の普及等の想定に基づいて、今後の資源需要量と素材生産に係る温室効果ガス排出量の推計を行うとともに、こうした資源の需給バランスや資源の効率的・循環的利用による低炭素化のポテンシャルについて検討する（資源チーム）。
-

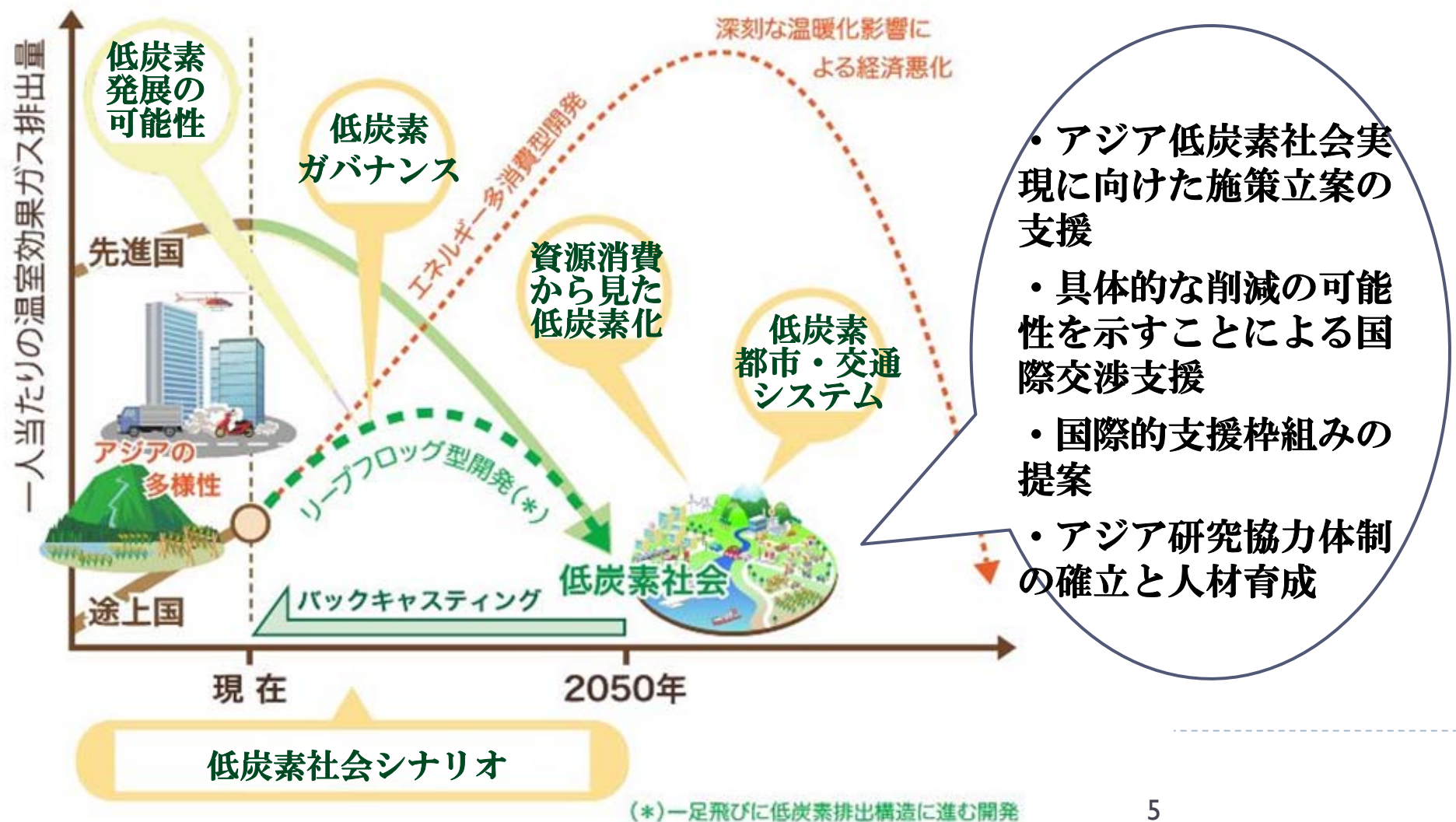
アジア低炭素社会研究プロジェクト (S-6) の研究概要 (3/3)

What is Low-Carbon Asia Project

- 低炭素交通システムに関する施策オプションを交通発生そのものの抑制 (AVOID)、低炭素交通モードへの利用転換 (SHIFT)、交通起源環境負荷排出の効率化 (IMPROVE) の3つの戦略から、それぞれの戦略の具体的方策を検討し、それらの方策のCO₂削減効果について分析する。また、都市の特性に応じた低炭素旅客・貨物交通システム実現のための施策パッケージのロードマップを、バックキャスティングとベストプラクティスに基づいて検討する (都市・交通チーム)。
-

アジア低炭素社会研究プロジェクト (S-6) の構成

Structure of Low-Carbon Asia Project



本シンポジウムの目的

The purpose of the symposium

アジア低炭素社会研究プロジェクトでは、「アジアが低炭素社会に向かうために何をすべきか」について、政府、産業界、市民、国際社会などの役割やロードマップについて、主要な分野を対象として検討し、「低炭素アジアに向けた10の方策」としてまとめた。

本シンポジウムは、「10の方策」を紹介することにより、方策の実現に向けて、何が重要であり、どのような課題があるかについて議論し、アジア地域での実装につなげることを目的とする。

目標とする「低炭素社会」とは

Key aspects of Asian low carbon society

- ダイナミックに変貌する経済・社会環境の進展を前提にしつつも、
- 今世紀半ば頃までには、地球全体、国全体の低炭素目標に整合した地域削減目標を、
- その地域に賦存する再生エネルギー資源及び土地資源などに係わる制約条件下において、地域特徴を生かした独自の方策を展開することにより達成するとともに、
- 低炭素社会政策及び関連する持続可能社会政策による共便益 (co-benefit) を最大限享受し、
- 温暖化影響を初めとする種々の環境影響に対する頑健な適応能力を有し続ける社会。

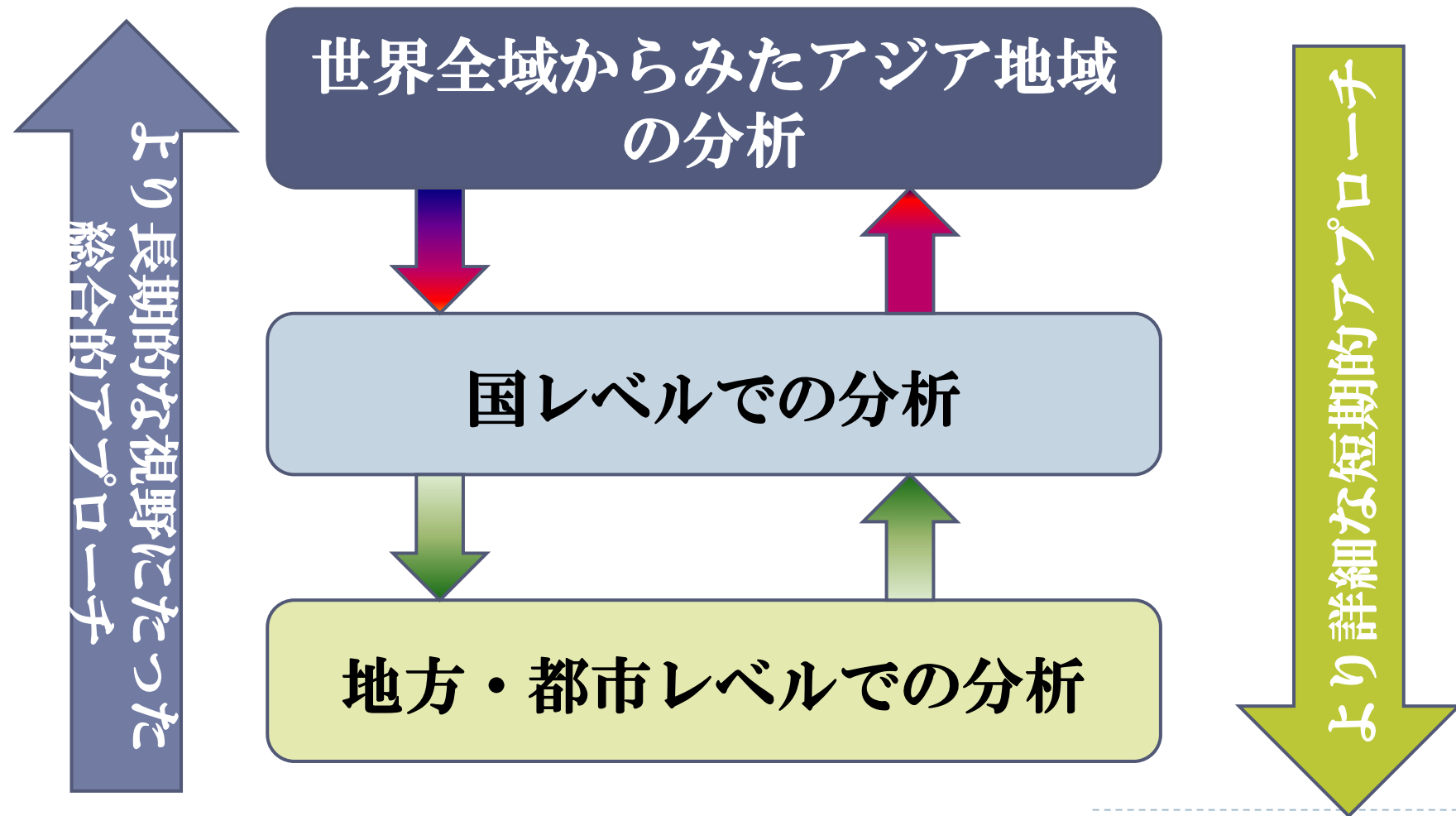
低炭素社会を実現するための方策の要素として、 取り上げているもの

Elements of actions to realize a low carbon society

- 社会インフラ、例えば、低炭素化に向けた交通インフラ、都市インフラ、長寿命インフラ、…
- エネルギー生産・消費施設・機器・技術、例えば、エネルギー供給施設、省エネ技術、機器供給システム、…
- 農業・家畜・森林・土地利用、例えば、低炭素な農業技術の普及、持続可能な森林管理、…
- 人的資本、例えば、低炭素社会経営を行うテクノラート、エンジニア、市民の受容能力、…
- 制度、例えば、エネルギー・機器などの効率的市場制度、国際的・国内的資金調達制度、炭素税・排出権取引、…
- 社会関係資本・慣習・規範、例えば、地域固有のライフスタイル、低エネルギー・低物質消費型ライフスタイル、…

低炭素社会研究における複合的なアプローチ

Multi-scales and interactive approach for LCS studies



アジアにおける低炭素社会を実現するために

Ten Actions toward Low Carbon Asia



方策1 **都市内交通**
階層的に連結されたコンパクトシティ



方策2 **地域間交通**
地域間鉄道・水運の主流化



方策3 **資源利用**
資源の価値を
最大限に引き出すモノ使い



方策4 **建築物**
光と風を活かす省エネ涼空間



方策5 **バイオマス**
バイオマス資源の地産地消



方策6 **エネルギーシステム**
地域資源を余さず使う
低炭素エネルギーシステム



方策7 **農業・畜産**
低排出な農業技術の普及



方策8 **森林・土地利用**
持続可能な森林・土地利用管理



方策9 **技術・資金**
低炭素社会を実現する技術と資金



方策10 **ガバナンス**
透明で公正な
低炭素アジアを支えるガバナンス

アジア低炭素研究の展開 (1/2)

Next Steps of Low-Carbon Asia Research Project

- インドネシア、タイ、ベトナムなどの低炭素社会シナリオ研究支援
- アジアにおける低炭素交通システムの提案
- 高炭素強度素材の需要量・GHG排出量と物質需給のシナリオの提示
- 温暖化対策技術に関わる金属の需要量と需給バランスの検討
- 低炭素アジアを支えるガバナンスの提案

アジア低炭素研究の展開 (2/2)

Next Steps of Low-Carbon Asia Research Project

- 東アジア低炭素成長ナレッジ・プラットフォーム (東アジア低炭素成長パートナーシップ対話へ知見の提供) の形成とそれを通じた東アジアパートナーシップ対話への知見の提供
- 低炭素アジア研究ネットワーク (LoCARNet) の活動を通じたアジアの研究者、政策決定者との協働
- 低炭素都市開発への協力
イスカンダール (マレーシア)、コンケン (タイ)、ボパール (インド)、アーメダバード (インド) など